

## 発症時期の早い3例について

- ・ 症例1: 発熱時期 2月17日～2月22日 [MMRワクチン接種歴あり]
    - － 軽症: 最高体温38.6℃、発疹はアトピー性皮膚炎との鑑別困難、咳あり
    - － 医療機関を受診するも麻疹の診断なし、3月14日 血清IgG(+)、IgM 未検査
    - － 練馬区在住、発症前1～2週に麻疹患者との接触なし、旅行歴なし
    - － 2月17日・2月19日に登校 4月6日に判明
  - ・ 症例2: 発熱期間 3月3日～3月12日 [ワクチン接種歴なし]
    - － 典型的な麻疹: 最高体温39.1℃、全身の発疹、咳・鼻水あり
    - － 医療機関で麻疹と診断、未検査
    - － 3月5日～3月7日に登校(期末考査)
  - ・ 症例3: 発熱時期 3月5日～3月15日 [麻しん単抗原ワクチン接種歴あり]
    - － 典型的な麻疹: 最高体温39.0℃、全身の発疹、咳あり
    - － 医療機関で麻疹と診断、血清IgG(EIA) 3月12日; 8、3月19日; 32
    - － 3月9日に登校(期末考査)
- 上記3人は友人であり、学校でよく一緒にいた。

## 集団発生前の麻しんまたはMMRワクチン接種状況 (n=792)

	生徒数	回答者	接種歴あり生徒数(接種率*%)					計	接種歴なし生徒数	接種歴不明生徒数
			2回接種	1回麻しん	1回MMR	1回不明				
1年生	237	235	6 (2.6)	129 (56.3)	62 (27.1)	5 (2.2)	202 (88.2)	27	8	
2年生	277	276	4 (1.5)	116 (43.6)	100 (37.6)	15 (5.6)	235 (88.3)	31	11	
3年生	278	230	6 (2.8)	93 (43.1)	89 (41.2)	12 (5.6)	200 (92.6)	16	62	
全体	792	711	16 (2.3)	338 (47.5)	251 (35.3)	32 (4.5)	637 (89.6)	74	81	

\* 接種率 =  $\frac{\text{接種歴あり生徒数}}{\text{接種歴判明生徒数}}$

## 学校外の二次感染

- 家族内二次感染者
  - － 23家族中、6家族 9名の同胞に家族内二次感染者を確認した。
  - － 2例から麻疹ウイルスを分離
  - － 4月4日発症の同胞例を最後に、新たな患者の発生はない。
- 校外活動における接触者
  - － 患者発生報告なし
- 地域の麻疹患者発生状況
  - － 井草高校関連患者なし

## 3年生の1例について

- 3年生の男子生徒1人から、4月15日に麻疹を発症したとの報告を、4月27日に電話で受けた。
- 本生徒は、3月10日の卒業式後は在校生、卒業生の誰とも会っていない、とのことであった。



- 流行時における、未接種・未罹患者のリスクの高さを示唆する症例

## 本事例において取られた対策

- 感受性者の把握とワクチン接種勧奨
  - 麻疹未罹患・ワクチン未接種の23人に対して、電話による接種勧奨
  - 90名がワクチン接種(電話による接種勧奨対象者19名含む)。
- 保護者説明会、麻疹講演会： 4月1日、参加者約200名
- 入学式に関連する対策
  - 玄関で発熱者チェック
  - 在校生の参加は中止
  - 教職員に対して既往歴・予防接種歴の調査、抗体検査実施を依頼、ワクチン接種勧奨
  - 抗体検査 46名(67.6%)が実施し、全員が抗体陽性
  - それ以外の教職員は、既往歴あり18名(26.5%)、接種歴あり2名(2.9%)
- 国際交流米国派遣生徒への対策
  - 派遣予定全生徒(11名)の罹患歴・予防接種歴の調査
  - 派遣予定全生徒、教員(1名)の抗体検査実施
  - 全生徒、教職員の抗体陽性を確認後に渡米。発症者なし

終息確認

## 集団発生の終息確認

- 症例の最終登校日は3月22日
- 3月23日以降の発症は6例
  - 感染性を有する期間に他の生徒との接触なし
- 3月27日から4月27日現在まで、症例発生はなし
- 家族内二次感染者9人は、4月4日発症が最後
  - 感染性を有する期間に生徒との接触なし

## 集団発生の終息確認

- 症例の最終登校日は3月22日
- 3月23日以降の発症は6例
  - 感染性を有する期間に他の生徒との接触なし
- 3月27日から4月27日現在まで、症例発生はなし
- 家族内二次感染者9人は、4月4日発症が最後
  - 感染性を有する期間に生徒との接触なし

4月28日をもって終息確認

## 考察(1)

- 感染源について
  - ・ 発端者の感染源は不明
  - ・ 現在関東での流行の一部
- 感染経路について
  - ・ 発端者と二次感染者2例；濃厚接触（接触感染、飛沫感染）
    - － 発端者はMMRワクチン既接種者で軽症
  - ・ 二次感染者と三次感染者群；空気感染が主

## 考察(2)

- 集団発生の要因
  - ・ 麻疹の既往が無く、ワクチン未接種者の存在
  - ・ ワクチン1回接種の限界
  - ・ 発病者に対する初期対応
    - － 感染性を有する期間の登校
    - － 麻疹に対する認識不足
  - ・ 継続的な地域流行

## 考察(3)

### ➤ 対策の評価

- 発熱時の登校制限
- 早期の積極的なワクチン接種勧奨
- 学校行事・部活動の中止
- 学校の臨時休校
- ワクチン接種の公費負担



- 感染伝播を遮断して、集団発生を終息させ得た
- 集団発生の再発を防止する

## 本校のリスク評価